

あつめ草

鹽野奇零

朝寒や地にこぼれたる爐紅葉
 萩に吊る小さき燈籠や蟋蟀
 はた雲や稻の夕日のあか
 蓋を取る樽柿の香や秋深し
 茸狩りに寫生に暮るゝと日かな
 魚釣りに居れば虫啼く後ろかな
 麥蒔りや紅葉ちり來る門畑
 遠きより山たそがれぬ紅葉が
 香を焚く萩の野寺や畫の雨
 草花に月のさしけりきり
 太刀を持つ小姓美し菊の宴
 朝寒き舟に飯焚く煙りかな
 白けたる米一斗や今朝の秋
 山寺や桐たかくと星月の夜
 船頭の追分節や小春風
 今來んと云ひし友あり一夜
 歓迎の米艦隊や秋日和
 草の聲夜長の哀れぬ落ちけり
 入渡る宇治とはなり菊作り
 拜領の頭巾健なり菊作り

滴全菊全吟全吟全田全梅全す全幽全彩全き全奇全全
 よ み
 泉童郎樂仙れ雨雲子零

西洋の玩具

日本人形の流行 近頃西洋では殆んど總ての國

に日本人形が持嚙されて居るのには實に喜ばしく感
 じたるが飾られたり度有つたに感ら打たれた日
 本人形が飾られたり度有つたに感ら打たれた日
 而して之れは思つて居る然るに其歸途や繪葉書
 のであらうと領部の日本人形が飾られたり有
 屋を繪書や大統領の山部人形の繪葉書が有
 る初めに日本形と云つたが普通圓四五十錢
 で通我が國で六寸物と云つたが普通圓四五十錢
 まで有る夫が僅かに一圓二圓三圓四圓五圓を以
 て位なる形に引物と云つたが普通圓四五十錢
 解る近來如何に日本形が重寶して居るかに
 なる居るが極く下手なもので日本製とは比べ物に
 ▲デヤボロの流行は去年の暮頃から流
 ら流行出したたものでは西洋には大
 行つて居る少世界には大流行した
 有つて雜書に載つて居るが流行した
 であつて我元祿時代の幕はに流行
 あつたに支那の朝鮮の模範に用ゐ
 其證に支那の朝鮮の模範に用ゐ
 か夫が支那の朝鮮の模範に用ゐ
 やうになつた夫の祖に日本は疾く
 たのになつた夫の祖に日本は疾く
 有難い作つた人形は餘り巧拙な差
 一切の趣向から出たものでも巧拙な
 劣る美術的改良の行つたならは決
 して西洋の玩具に